

学校法人益田永島学園明誠高等学校 行動計画

女性事務職員がプライドを持ち、活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のような計画を策定する。

1、計画期間 平成29年4月1日～平成32年3月31日

2、当法人の課題

(1) 事務職員における女性の管理職比率が低い。

常勤の職員に占める事務職員の比率は10%（全体の女性比率は35%）であり、主たる職種の教師職が組織内では多数を占める。また、男性・女性の区別なく活躍できる職種でもある。しかしながら、事務職が行う業務の重要性、秘匿性、は法人の運営を支える位置にありながら、組織内におけるその認知は低く、事務職員のモチベーションは上がらず、プライドを持った仕事ができないのが現状である。その結果、管理職比率が低い。

(2) 事務職員の業務の労働生産性が低い。

事務室は、正面玄関の入口の受付と兼ねており、頻繁に来客対応をしなければならない。(1)にあるように、専門性が問われる高度な業務であるにもかかわらず、生徒、職員も頻繁に訪れ、業務に集中できない。書類の収納場所もないため、動線が非効率な状態になっており、思うように動けない。

3、目標と取組内容・実施時期

目標1 ○女性管理者を1名→2名に増やす。

○アンケート調査（満足度調査：-1 POINT 悪化・0 POINT 変化なし・1 POINT 向上）を実施し、進捗状況を確認しながら、組織内での認知度UPを図る。それにより満足度をゼロベースから50 POINT 向上させる。結果として事務職員のモチベーションを向上させ、プライドの持てる仕事ができる環境を構築する。

「取組み内容」

○1年間を3分割し（学期毎）、1ブロック目においては、現状満足度調査を行い、現在位置を確かめたのち、具体的な課題をヒアリングにより洗い出し、共有し精緻化する。自らの手により改善策をまとめ、提案書を作成し、全職員での協議の場で周知を行い、事務職員の職性認知を行うとともに、改善に向けての行動を自他ともに促す。

○2ブロック目においては、提案書にある項目の具体的事項の改善進捗を行い、未改善、新規を改めて提案書として作成し、全職員での協議の場で再度認知

を行い、事務職員の職性認知を更に深めていく。

○3ブロック目においても前段同様の作業を行い、認知を図るとともに、総括としての、満足度調査を実施し、始めに行った調査からの15ポイント向上を必達、とする。

○以後計画の残り2年間も同様の取り組みを実施し、2年目15POINT、3年目20POINT、合計50POINTの向上を目指す。

○事務職員のキャリアに対する意識改革を目的とするキャリアコンサルティング・セミナーを行う。

○スキルアップを図るための研修を受講していく。

目標2、○労働生産性を上げることで、有休消化率10%以上を目指す。

○職場の施設設備の環境整備を、プライベート保持、ストレスを軽減する空間づくりを観点とし行い、モチベーション向上を図り、その観点からの満足度をゼロベースから50ポイントまで向上させることを目指す。

「取り組み内容」

○平成29年度中に、プライベート保持のため更衣室等を整備する。

○平成29年度中に、荷物置き場等に実質なっている空間を整備し、効率よく作業ができる事務室を整備する。

各取組内容の開催時期

目標1 初年度

1ブロック	4月～8月	満足度調査5月末より
		職制認知活動7月より
		学校法人会計基礎実務研修7月又は8月
2ブロック	9月～12月	改善進捗状況確認
		意識改革研修10月
		新規提案職制認知活動12月より
3ブロック	1月～3月	改善進捗状況確認
		満足度調査実施3月

2年目

1ブロック	4月～8月	改善進捗状況確認
		学校法人会計中級実務研修7月又は8月
2ブロック	9月～12月	改善進捗状況確認
3ブロック	1月～3月	改善進捗状況確認
		満足度調査実施3月

3年目

1ブロック	4月～8月	改善進捗状況確認
		学校法人会計予算編成・管理研修予定
2ブロック	9月～12月	改善進捗状況確認
3ブロック	1月～3月	改善進捗状況確認
		満足度調査実施3月

目標2 事務室整備 H29年8月もしくは12月で実施